

ワークライフバランスとテレワーク



講師： ふるかわ やすひろ 古川 靖洋

関西学院大学 総合政策学部 教授

(専門: 計量経営学、経営戦略論、オフィスの生産性)

1962年神戸市生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。慶應義塾大学商学研究科後期博士課程修了。博士(商学)。1998年より、関西学院大学総合政策学部助教授。2004年4月より現職。通商産業省企業経営力委員会委員、厚生労働省在宅勤務実態調査委員会委員などを歴任。オフィス環境とホワイトカラーの生産性・動機づけなどの関係を、長年に渡り調査。著書に『創造的オフィス環境』、『情報社会の生産性向上要因』(いずれも千倉書房刊)がある。

近頃、従来のような仕事一辺倒で、家庭生活を犠牲にする働き方から、仕事と家庭生活の両立を目指した働き方への転換、即ち、「ワークライフバランス」が、複数の分野で注目され始めています。2007年以来、日本政府はIT(情報通信技術)を活用した場所や時間にとらわれない柔軟な働き方として、テレワーク推進政策を打ち出しました。これによって、個々人はそれぞれの置かれた状況に応じて、多様かつ柔軟に働くこと、即ち「ワークライフバランス」が可能となると考えています。ただ、テレワークの推進には長所だけでなく、管理の難しさや疎外感などの短所もつきものです。本講演では、ワークライフバランスとは何か、そしてワークライフバランスの達成のためのテレワークの利用と、その成功要因についてお話します。

■日時: ① 2010年2月22日(月) 14:00~15:30(受付開始13:30~) 昼開講

※「ワークライフバランス」とは何か、「テレワーク」はどのようなものか、主として一般家庭の方対象に、家庭生活において、その考え方、活用方法についてわかりやすくお話します。

② 2010年3月1日(月) 19:00~20:30(受付開始18:30~) 夜開講

※主としてビジネスパーソン向けにお話します。「ワークライフバランス」からみて特に課題になっている長時間労働や労働の質の問題などについて、その改善の方向を、現在注目されている「テレワーク」を達成手段として見出す事例などをお話します。

【注】上記2回講演のうち、どちらかにお申し込みください。

■場所: 関西学院大学大阪梅田キャンパス 1405教室
(〒530-0013 大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー14F)

■定員: 各80名(先着順)※座席に限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。

■お申し込み方法: 下記項目を記入し、メールまたはFAXにてお申し込みください。
受付が完了次第、事務局よりお申込番号をお送りいたします。

【記入項目】 件名「〇月〇日梅田講演会申込」

- ①氏名(ふりがな)※卒業生の方は、卒業年度・学部
- ②ご住所(〒もお忘れなく!) ③TEL・FAX ④E-mailアドレス
- ⑤希望講演会日時
- ⑥梅田講演会を知ったきっかけ(例: ●●でもらったちらしを見て等)

■お申し込み宛先(お問合せTEL:06-6485-5611)

E-mail: kghub@kwansei.ac.jp

FAX: 06-6485-5612

関西学院大学大阪梅田キャンパス 講演会申込(T)宛

【主催】関西学院同窓会西日本センター、関西学院大学大阪梅田キャンパス

【個人情報の取り扱いについて】講演会お申し込みにあたり、お知らせいただいた個人情報は、来場者の統計的分析や今後関西学院大学大阪梅田キャンパスからのお知らせを送り出す際にのみ利用いたします。もし、こちらからのお知らせが御不要な方はその旨御連絡下さい。

